

均等推進企業部門 厚生労働大臣優良賞

東京電力株式会社

所在地：東京都千代田区 業種：電気・ガス・熱供給・水道業 従業員数：約 39,000 人

女性社員が更に活躍できる環境づくりを目指し、 会社一体となって条件整備に取り組む

1 ポジティブ・アクション取組体制

- ◇ 平成18年2月にダイバーシティ推進室を設置し、すべての人がやりがいを持ち、能力を発揮できる職場の実現に向けた取組を推進。
- ◇ 中期経営計画策定方針として、女性社員の一層の能力発揮・活用を図ることを示し、毎年策定する経営計画に盛り込み、経営会議で実施状況を確認。
- ◇ 会長からのメッセージを初めとし、社長、執行役員支店長等経営層が機会あるごとに女性の活躍推進に向けたコミットメントを全社員に発信。

2 ポジティブ・アクション取組内容

- ◇ 女性技術職の採用拡大のため、女子学生向けキャリアセミナーに変電所等の施設見学を含めるとともに、会社広報誌やホームページで活躍している技術系女性社員を積極的に紹介。
- ◇ 配電技術や工務技術等、これまで女性が少なかった技術系の各部門への女性の配置を目指して、17部門が集まり部門横断の女性活躍検討タスクチーム「プロジェクトF」を設置し、女性社員活躍の現状分析・課題抽出を実施。分担に性別の偏りが見られる業務や今後女性の活躍が期待される業務を例示した「女性社員への業務付与ガイドライン」を制定し、性差のない均等な業務付与方針を明示。
- ◇ 女性活躍推進にかかわる今後の方向性を定め、「管理職任用」から「候補者層の裾野の拡大」に**力点をシフトし**、将来の管理職候補者に対して個別の育成計画を作成し、人事部門と職場が連携して計画的な育成を実施。
- ◇ 管理職層の意識変革を目指し、管理職やチームリーダーを対象とした女性活躍推進のフォーラムを実施。女性活躍の必要性の納得からスタートし、現在は、管理職が**実際に行動に移すことができるようにするためのスキルトレーニング**を順次実施。

3 ポジティブ・アクション取組成果

- ◇ 技術系女性の採用人数が、平成18年度の25人から平成22年度には67人に増加。
- ◇ 発電所や送電設備の建設業務、ダムの保全業務、柱上作業を含む配電保守、放射線管理の宿直、中近東への海外出張等、女性の活躍の場が拡大。
- ◇ 管理職における女性割合は、係長クラスが平成20年の183人から平成22年には211人、課長クラスが平成20年の49人から平成22年には57人となるなど、係長クラス、課長クラスとも増加。また部長クラスにも複数名あり。